

様式 4

令和元年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立岩美高等学校

校長 山中 洋介

評価日	令和2年 2月12日(水)	
評価・提言	学校の所見・改善策等	
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ①進路実現・・・B評価 ②部活動の振興・・・C評価 ③基本的生活習慣の定着・・・B評価 ④豊かな人間関係づくり・・・C評価 ⑤基礎学力の向上・・・C評価 ⑥学習指導の改善・・・B評価 ⑦教育環境の改善・・・C評価 ⑧岩美町との効果的な連携・・・B評価 ⑨授業・部活動等を通じた地域連携の実施・・・B評価 ・評価表の通り生徒は真面目に授業を受けており、先生も生徒もよく頑張っているのが伝わってくる。 ・離職者を減らす取組と同時に岩美町を始め県内に就職しようとする生徒を育て、人口流出阻止にも取り組んでほしい。 (2) 説明・公表について 学校の取組状況は、学校評価アンケートの結果をもとに評価されており、学校関係者評価委員に適正に説明されている。また、学校ホームページで活動する生徒の姿が地域に情報発信されている。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について 裁量予算は、学校の重点目標に照らして適切に割り振られている。基礎学力向上と地域連携の重点校として活動がより活性化されることを望む。 3. 取組改善のための提言 ○岩美高校が残るためには生徒、保護者にとって魅力のある学校でなくてはならない。そのために必要なのは学力向上である。外の力(岩美町)を活用するなど、町のバックアップも期待したい。 ○高齢者の中には10年以上前のイメージで学校を捉えている人がいる。ケーブルテレビを通じた情報発信を試みたこともある。機会を捉えて実情を伝えて、岩美高を知ってもらう機会を増やしたい。 ○イワッツミッションの防災意識の向上や啓発活動、楽天(株)の「Rakuten IT School NEXT」の取組で中学校を訪問したり、吹奏楽部の発表で同じ舞台に立つなど高校生を身近に感じる機会がありよかった。是非来年も継続してほしい。 ○高校生に高齢者施設を訪問していただくと利用者の方が普段職員には見せたことのないよい表情をしておられる。これからも是非継続していただきたい。	○基礎学力向上と地域連携の重点校として本校の体制を確立し魅力ある学校運営を行い生徒募集につなげたい。 ○約7割の生徒が県内に進学または就職しており、地域を支える人材を輩出している学校であると自覚し、生徒を育成する。 ○部活動全員加入としているが既存の部活動での活動が難しい生徒に対応するためイワッツクラブ再設置の検討をする。 ○新学習指導要領に令和4年度から移行するにあたり、教育課程や種類のあり方を検討する。 ○基礎学力の定着に向けて、基礎力診断テストの複数回実施により、学力の変化を踏まえ方策を検討する。 ○授業評価アンケートの結果を踏まえて生徒の視点から学習指導を行い生徒の主体的な学びの維持を図る。 ○地域連携重点校としてより一層の充実に取り組む。一方で、コーディネーター不在となる来年度の地域連携の充実が課題であり、体制づくりが必要である。	